

2025年12月号
信頼を礎に、新しい政治を。

Next ARAKAWA 自民党プレス

どんな事も私たちにお気軽に
相談してください。



自民党荒川区議会

自民党 Lib Dems
Liberal Democratic Party of JAPAN

03-3802-4625

〒116-8501 荒川区荒川二丁目2番3号 5階 自民党控室



北城さだはる



斎藤やすのり



なみき一元



もぎ弘



明戸まゆみ



すがや元昭



鎌田みちてる



夏目亜季



どばしけいこ



西川こうへい



若林ゆき



—自民党荒川区議団 年末のご挨拶—



12月を迎え、今年の自民党NEWSも最後となりました。いつも、NEWSを読んでいた皆様にご心から感謝申し上げます。今年は、1月の埼玉県八潮市での道路陥没事故に始まり、海外ではトランプ政権の誕生とそれに伴う関税の問題、国内では備蓄米の放出をはじめとしたコメの問題、災害級の夏の暑さ等、生活様式が変わりかねない大きな問題が起きた一年でした。自民党荒川区議団としては、従来の政策の強化、推進に加えて、こうした問題に少しでも力になれるよう、プレミアム付き荒川区共通買い物券の発行総額の倍増も要望し、実現しました。また、国政においては、日本初の女性総理が誕生し、高市内閣が発足しました。国民の皆様からの大きな期待をいただき、年末にはガソリン、軽油の暫定税率の廃止、今年の春に160万円まで上がった年収の壁も、来年には物価に連動した形で更なる引き上げに向けて議論が始まっています。

自民党荒川区議団も、国政に負けじと区民生活が更に豊かに、安心して暮らしていただけるよう区政の推進に尽力して参ります。

あらかわ最新NEWS



荒川区民ミュージカル開催！

荒川区民ミュージカル『あらかわ宝物さがし物語PART3～魅力発信あらかわワンダーランド～』が**12月14日（日）**、サンパール荒川で上演されます。オーディションで選ばれた小中学生を含む区民が、生バンドの演奏に合わせて歌い・踊り・演じるオムニバス形式のオリジナル作品です。**午前11時と午後3時の2回公演で、料金は大人3,500円、小中高生2,000円、親子チケット4,500円。手話通訳あり、未就学児の入場は不可ですが、託児サービスを利用できます。区民が創り上げる感動の舞台にぜひお越しください。**



12月1日は世界エイズデー

1988年にWHOが定め、HIV・エイズへの理解促進と偏見の解消を目的としています。令和7年度のテーマは「U=U（検出されない＝性感染しない）」。治療により血液中のウイルス量が検出されない状態になれば、性行為によるHIV感染は起きないことが確認されています。早期発見と早期治療が重要であり、保健所では無料・匿名・予約制でHIV検査を実施しています。感染が心配な場合は2か月以降に検査を推奨。差別や偏見のない社会に向け、正しい知識の共有が大切です。11月28日～30日あらかわ遊園の観覧車を赤色にライトアップし、啓発を行いました。



自民党からは2名が一般質問を行いました



若林ゆき議員

【イヤホン難聴対策と若年層を含む切れ目のない聞こえの支援体制について】

イヤホン難聴の増加を踏まえ、若年層への適切な音量・使用時間の啓発や、セルフチェックなど聴力確認の機会拡大を求める。難聴者への字幕表示や要約筆記など情報保障の充実、災害時の視覚的通知体制の強化。18～64歳への補聴器助成がなく支援に空白が生じているため、子どもから高齢者まで聞こえの支援制度の整備を検討すべき。

【異常気象時代に必要な“複合型・室内遊び場”の整備について】

子どもが安心して体を動かせる場が不足。学びと遊びを一体で体験できる複合的な室内遊び場の整備を行い、区有施設の改修時には、子どもの育ちを支える拠点として安心して過ごせる環境づくりを進めるよう強く求める。

【荒川区のブランディングとLINEを活用した行政情報発信の強化について】

地域ブランディングの手法も取り入れ、現在の行政プロモーションに反映することで、荒川区の価値を向上させ、住み続けたい、住んでみたいと思ってもらえるような街づくりをしてほしい。また、情報発信の方法として、区の公式LINEを活用し、防災情報や子育て支援、イベント案内など、必要な情報を区民が受け取りやすい形で発信することで、行政サービスへのアクセス向上につなげることを提案。

【ごみ減量に向けたリユース促進の取組について】

不要品を必要とする人に繋ぐリユースの仕組みや、地域での交換・譲渡の場づくりを進めることで、ごみの発生抑制と資源の有効活用に繋げ、環境負荷の削減にも寄与させる取り組みを強化するよう要望。



どばしけいこ議員



建設環境委員会

当委員会では富山・上越・長岡の3市を視察し、公園管理の工夫、桜の長寿命化、地域資源を生かした環境施策、生ごみバイオガス化など先進事例を学びました。

島根・米子・神戸の3市で、発達障害支援、フレイル予防アプリ、こども・若者ケアラー支援の取組を視察。相談体制、ICT活用、訪問支援や配食支援など先進施策を学びました。



福祉・区民生活委員会